



# おかやま連町だより

題字 兼松久和

第5号

発行／岡山市連合町内会 発行日／平成15年3月



最上稲荷

撮影／岡山市連合町内会 副会長 熊代 武志

## 不惑を迎えた 岡山市連合町内会

岡山市連合町内会  
会長 兼松 久和

三寒四温の中、春の息吹を肌近く感ずる時候となりました。皆様におかれましては、良好な住民自治組織の形成並びに維持発展のため、また地域住民の福祉向上のため日々献身的なご尽力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、前号の連町だよりで紹介をさせていただきましたが、平成14年度は岡山市連合町内会創立40周年を迎えました。加えて全国自治会連合会全国大会を岡山市で誘致開催することとなり、岡山市連合町内会の過去にない大イベントの年となりました。まさに本会の組織力と自治組織の連携を試される年であったと言えます。

とを紙面を借りましてここに厚くお礼申し上げます。

さて、今日の社会情勢は依然として景気は低迷を脱せず、大型倒産が相次ぎ、失業率も過去最高となるなど市民生活を取り巻く環境は物心共に厳しい状況であります。

一方で、本来の地方自治の実現を目的とする地方分権一括法の施行から三年が経過し、その基盤である市町村合併が今や全国的に議論がなされていくところでもあります。

首長、議会、住民の考えが交錯し関心のあるところですが、基本は住民の意思決定によらない合併は砂上の楼閣であることを住民自身が認識しなければならぬと考える次第であります。

行政区域の枠の違いは異なれ、地縁に基づく住民自治組織は住民の自主・自立・相互扶助の理念を歴史的に形成してきたことにより連携・連帯・協働が可能であります。

岡山県自治会連合会も結成

されて四年を経過し、前記の岡山大会の準備を進める中で岡山市の他二市七町一村に実行委員会に参加していただき、組織も三市五町一村の加盟を得ております。

岡山市連合町内会は、昭和60年の全国自治会連合会発足当初から加入し、全国的視野からも組織の活性化を図って参ったところであります。

しかしながら住民自治組織は任意団体であるが故に（市町村の付属機関となつて居る場合もある。）国の政策における社会的認知は甚だ低いと言わざるを得ません。

現在の地縁団体功労者総務大臣表彰は平成11年に創設され、当時は自治大臣感謝状でした。私が平成13年に全国自治会連合会会長に就任し、先ず取りかかりましたのが表彰制度の改革と受賞者枠の拡大であります。国における顕彰制度の改善は地縁団体の長に対する社会的地位の向上に繋がるものと評価

できるのではないのでしょうか。

またひとつは、栄典制度の適用であります。即ち褒章制度、叙勲制度の適用であります。栄典制度は従来国家・公共のために功労があつた方に授与されるものであります。我々は国家権力の外にあつて奉仕の精神の発揚を理念に自治会組織の運営に専念して参りました。ご承知のように昨年8月の閣議において栄典制度の改革が決定され、従来の官尊民卑の偏重を見直し、ボランティア活動で実績のある方々を対象にするなど幅広く人材を顕彰することになりました。現在全国自治会連合会の重点事業として内閣府、総務省の関係大臣及び関係行政当局に要望を行っております。

こうした全国的な動きの中で、いまひとつ大切なのは生活の安全、即ち地域住民の生命の安全であります。記憶に生々しい阪神淡路大震災の教訓を風化させず常に地域の

自主防災体制を整備することも自治会組織の大切な役割です。昨年NPO法人「日本防災士機構」が発足し、全国の住民自治組織代表として私が評議員に就任したわけですが、これも過去の教訓から地域防災に果たす自治会組織の役割の重要性を実証したものと云えましよう。

時代は様々な分野で住民参加を求めています。環境、衛生、福祉、教育、生涯学習、防犯防災、交通安全、住み良いまちづくり、地域イベント等々。こうした活動の基盤としての町内会等住民自治組織の役割は向後ますます多様化し、重要となつて参ります。

従いまして、私たち住民自治組織の代表者は地域社会の中で厳しくその資質が問われており、常に研鑽に励まなければなりません。

ここに岡山市連合町内会創立40周年という不惑の年を迎え、先人達の輝かしい功績を引き継ぎ、住民が誇れる

町内会を後世に伝えるべく前進して参らなくてはなりません。

最後に、皆様方の二層のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。ましてごあいさついたします。



## 学区の動き

### 新しい教育と PTA改革

内山下地区連合町内会  
会長 白川 文弘

内山下地区は、北は右閔町から南は船着町まで旧町名で二十五町内会から成り立っており、人口は三千三百七十四名です。六十五歳以上の人口は千七名で、高齢化率は二十九・八%です。一人暮らしの高齢者は男性二十

二名・女性百三十六名で、入院八名の百六十六名です。八十歳以上は、女性百九十五名・男性九十三名の二百八十八名に達しています。（平成12年度岡山市シルバー台帳調べ）

平成14年10月4日に岡山県庁前の旧丸之内中学校跡地に県立図書館の起工式が行われました。

また、旧日本銀行跡地の改修オープンも16年着工が決定し、地域の活性化の起爆剤になると期待されています。

岡山中央中学校は、平成11年に旧丸之内中学校・生徒数百十四名、旧旭中学校・生徒数三百五十七名、が統合され生徒数四百七十一名（障害児二十四名は除く）となり、五十二名も激減しています。新しい教育を目指して、15年度より、一部北校舎から改築されます。新校舎の早期開校がまたれます。平成13年に旧内山下小学校・児童数八十三名、旧深柢小学校・児童数六十九名（いずれも学区外通学者を除く・市教育委員会

調査)で統合され、岡山中央南

小学校として発足しました。旧

弘西小学校と旧南方小学校が

統合され、岡山中央北小学校

が発足しました。旧弘西小学

校跡地に岡山中央南、岡山中

央北小学校が再統合され、岡

山中央小学校として発足する

予定で新校舎を建設中です。現

在は、小早川秀秋の在城した千

六百二年頃の岡山城の一番外側

の段「三之外曲輪」の発掘調査

をしており、平成17年度に開校

の予定です。

岡山市男女共同参画社会の

促進に関する条例が制定され

ましたが、その中に教育の責

務の項がありますが、私は公聴

会において、我国は子どもの権

利条約を批准しているながら学

校教育の中で子どもの人権を

認めていないこと。現在の

P T Aが「一番遅れていること。子

ども(国際条約では十八歳未満

を云う)の参加する権利・意見

を発表する権利等が、幼稚園、

小学校、中学校、高等学校での

られていないこと。  
P T Aを「P親」「T教師」「C地域」「C子ども」での学校運営が求められていること。現在、川崎市が市の条例の中で学校運営をしていること。岡山市との落差が大きすぎることを発表しました。  
地域の代表である岡山市連合町内会が岡山市に対して声を大にして、岡山市条例の実施を働きかけ、全国的に教育改革・P T A改革の先陣を切つて欲しいと思います。岡山県自治会連合会・全国自治会連合会の活動指針の一翼に加えて欲しいものです。未来の我が国を担う子どものために出来ることから実現していきましよう。  
岡山市連合町内会 万歳

### 我が町を誇る

高島学区連合町内会  
会長 藤原浩

#### 一、文化と自然

躍進の続く高島・旭竜学区は、古代から備前の交通の要衝で文化・政治・経済の中心

地として拓け「備前国府跡」や「賞田廃寺跡」のほか、備前の国の百二十八社を合祀しています「備前総社宮」や受験合格には極めて靈験の高い「竜之口八幡宮」等の名所旧跡が数多くあるほか、岸本甚造翁が生み育てた「雄町米」や日本名水百選の「雄町の冷泉」天然記念物に指定されている淡水魚の「アユモドキ」等。水の宝庫は草木の宝庫となり、「ゲンジボタル」・「ヒメボタル」を育てており、動物・昆虫・魚貝類のもろもろが共生している一大パラダイスで、多くの学区民はのどかな四季折々の風情を誇らしく満喫しています。  
加えて、平成の改元記念に開園した「竜之口グリーンシヤワー公園」は、森林浴を兼ねて幼稚園児・小学生たちの遠足コースとなつて春は花、秋は紅葉でにぎやかです。  
更には、百間川の河川敷を活用して津田永忠公の遺徳を永遠に顕彰する「津田永忠公顕彰記念公園」の築造計

画も進められています。

#### 二、生活と交通

明治24年3月18日に山陽本線が三石・岡山間で開業したことで高島学区は鉄路に遮られて陸の孤島化して久しかつたのですが、昭和60年3月14日に日本国有鉄道の終焉の事業として「高島駅」が開業されました。  
国鉄の試算では、山陽本線赤穂線の相乗効果を期待して一日千九百人の乗降客を見込んで上下百五本を停車させたものの千八百人そこそこであったとか。それが十八年後の昨今では岡山駅へ五分という便利さもあつて当時の四倍の七千人余りが上下百五十三本の停車で乗降しています。

一方、定期のバス便は宇野バスが四御神線と東岡山線を、両備バスが旭川荘線を運行させる等、生活の利便性は飛躍的に向上しており、文化と自然が創造してくれた理想郷であります。

### 地域に根づいた活動

平島学区連合町内会  
会長 森亮

平島学区は、岡山市の東部に位置し、小鳥のさえずるまち上道地区内にあります。  
昭和42年に新県道山陽―西大寺線が開通後、住宅団地が次々に造成され、世帯数は現在千七百世帯を超え、当時の四倍強になつています。

また、企業・大型店舗なども進出し、豊かな田園地帯も減少していますが、江戸時代に新田開発された堀田はそのままだとされており、現在は自然環境と生活環境に恵まれた学区です。  
平島小学校では平成9年より国際理解教育を開始しておりますが、その実践として13年度から五年計画で中国南昌市の松柏小学校と交流を始めています。13年8月には、平島小学校児童十一名と実行委員会メンバー十五名が訪中し、児童はホームステイし、家事の手伝いなどを通して中国の生活や習慣を



体験。14年6月には中国から児童十二名と大人十二名が来日し、同じくホームステイで生活を共にし、実体験を通して理解と友好を深め、「人と人との関わりを重視」した活動も達成されました。

また、昨年岡山市教育委員会が募集した「教育の情報化」実践モデル校にもなり、11月にLANケーブル配線工事のため、地域からボランティア五十名の協力を得て、各教室でインターネットを利用した授業ができるようになったことも児童にとつて非常に良いことです。

平島学区コミュニティ協議会では、毎

年4月に「コミュニティ祭り」を開催し、グランドゴルフ・ソフトバレーボール・各講座発表などを実施しております。

また、「郷土の歴史を語る会」では市の「おかやま街いきいき活動支援事業」の指定を受け、「ふるさと平島の歴史」を発刊し、地域の方々に購読していただき、好評を得ております。今年度も「砂川物語」を3月末に発刊する予定です。

これらの諸行事に町内会として全面的に支援し協力をしています。今後も各種団体と連携を密にして、地域に根付いた活動をしたいと思っています。

### 西学区の歩み

西学区連合町内会  
会長 長瀬 四郎

西学区は、岡山市の西南部に位置し、今を去る明治22年の村制実施により「御津郡今村」として誕生、昭和27年には岡山市へ編入され、当時は青々とい草・米作りを主体とする純然たる農村地帯であった。



昭和30年代後半から、岡山市の西部副都心構想の中で開発整備の気運が芽生えはじめ、組合事業としては全国でも稀な大規模な「今土地区画整理事業」によって、組合設立以来19年の歳月を経て、平成元年岡山市制百周年記念の年に事業竣工

となり、市街化が急速に進み、学区編成替え又は学校分離等何回か繰り返され現在に至った。

西学区は、東は大元学区、西は御南学区、南は芳明学区、北は大野学区に囲まれ、二十二の単位町内会で形成され、世帯数は四千七百六十七、人口二万三千七百

二十七人と大きく飛躍し、市当局も岡山操車場跡地周辺を「岡山市西部新拠点地区」と位置づけ、西部第四地区土地区画整理事業又は国土交通省の岡山西バイパス工事等、各種施設も急ピッチで進められ、各方面からも脚光を浴びる状態となった。

平成14年度の主な歩みは次のとおりです。

○3月9日 待望の「岡山市西コミュニティハウス」が完成し、関係者約六十人が出席して竣工式を盛大に開催しました。竣工式では、隣接する岡山市立今幼稚園児十八人が「手のひらを太陽に」を元気に歌って完成を祝い、午後地区民の祝賀行事で地域の交流を誓いました。

○8月24日 夏休み最後、第三回目の「福祉のまち星空サマーコンサート」を、西、御南両学区で組織する「御南中学校区街づくり協議会」主催で盛大に実施しました。

○9月29日 第四十二回「西学区民体育祭」を体育協会主催のもと、学区内八団体の後援で実

施し、地域の連携を深めました。  
○11月27日 大野、西両学区連合町内会など六十九団体で組織した「山陽本線西部新拠点地区新駅(仮称)設置促進期成会」が、岡山市長、岡山市議会議長、JR西日本岡山支社長あてに、二万三千二百六十七人の署名を提出し、岡山国体までに新駅実現を要望しました。

○12月14日 御南中学校の全校生徒と、地域住民(西、御南両学区)約八百人が参加し、「笹ヶ瀬川レックリオン作戦」を実施し笹ヶ瀬川周辺の清掃活動を行いました。

○その他 単位町内会、体協、婦人会の共催による盆踊り大会等、地域活性化に向けた各種行事も積極的に行われました。

### 足守の歴史文化と地域の活性化について

大井地区連合町内会  
会長 三宅茂

足守の歴史は古く縄文時代に、この地に我々の先祖が生活していた痕跡があります。日本

書紀には、応神天皇の吉備国葉田葦守宮(現在の葦守八幡神社)に行幸の物語があります。

さらに、荘園時代に作成されたといわれる足守荘絵図が京都神護寺にあり、絵図には多くの寺院が見られ、この地が文化的発展を遂げていたことを物語るものであります。

従って、当地には史跡文化財が多く存在しており、国指定重要文化財として

○葦守八幡宮鳥居(足守)

花崗岩製、柱に康安元年辛丑10月2日、石大工沙弥妙阿、願主神主賀陽重人、祝師僧頼澄の刻名があります。

○鼓神社の宝塔(上高田)

花崗岩製、塔身に、大勧進沙門正円、貞和2年10月2日造立之大工妙阿の刻名があります。

○守福寺の宝殿(下足守)

花崗岩製、銘は風化しているが柱に暦応元年戊寅11月12日とあります。

また、県指定重要文化財は

○足守藩侍屋敷遺構(足守)

○上願寺梵鐘(下高田)  
○大光寺の靈廟(足守)  
○葦守八幡宮の円鏡(足守)  
等多くの文化財が存在します。

さらに県指定の名勝近水園は、旧足守藩主木下家の庭園で、足守川の水を引き入れて造られた小堀遠州流の池泉回遊式の庭園で春は桜に牡丹、初夏は新緑、秋は紅葉と四季それぞれの風情があります。  
近水園外苑の歴史資料館足守文庫には木下家に関する古文書や、木下家とゆかりの深い豊臣秀吉、北の政所にかかわる品々が展示されています。  
また、近水園に隣接する足



## 岡山市連合町内会の動き

守川河川敷を会場として春は「洪庵桜まつり」秋は「メロン祭」を毎年開いており、特設ステージでは足守八州太鼓をはじめとして各種演芸で盛り上げ、併設のテント村では、メロン、間倉ごぼう、しいたけ等の特産物の販売が人気を博しており、各種団体が一致して地域の活性化に積極的に取り組んでいます。

## 二十一世紀を生きる

芳田学区連合町内会  
会長 時信昇

この芳田学区は、約千二百年前頃までは吉備の穴海と呼ばれる遠浅な入江の海でありましたが、徳川時代から干拓事業によつて、現在の広大な農地が生まれ、つい最近までい草と米作の純農村でありました。市政の発展は、道路網の整備と共に大きく時代を変え、岡山市のベツトタウンとしての住宅地から現代では西の盛都の様相へと変革されつつあります。

しかし急速な発展は一方では地域住民に種々な問題を起こ

し必ずしも順調ではありません。芳田学区にある児童クラブは、働く家庭の子どもを放課後預かる施設ですが、最近異変が起きています。

週五日制の実施と企業のリストラに伴う問題であります。当初七十名を超えていた児童が、小学校の新入学児童数は先年とほぼ同数であるのに、本年度は三十数名となりました。原因をよく調査して対処の必要があります。

最近の高齢化もかなり深刻でこの学区に老人会がありませんが、五十名を二班として十二班に別れており、総数約六百名で、これを総称して芳田学区老人連合会と称していますが、この会もまた異変が起きています。年に二回程度、一泊二日の旅行を計画し、ここ数年前まではバス一台に満員となる参加者がいました。この二、三年は十名程度の参加が見られるだけでついに旅行は取りやめとなりました。原因は七十代後半から八十歳を超える者が多く、バス旅行に

耐えられなくなつたためです。これはとりもなおさず高齢化が進んだためであります。

地域でみると二、三軒に二軒は六十五歳以上の方がいますが、新しく該当年齢に達した方は、なかなか老人会に加入しないのも原因の一つであろうかと思えます。

婦人会、愛育委員会等も同じことが言えるのではないかと思います。

最近高齢者家庭の中で悲劇も数多く起きています。特に一人暮らしの家庭は死後の発見が遅れるため、悲惨としかいえない有様です。

このような中で、期待していた二十一世紀は現在のところ良いことはありません。

最近モデル電子町内会を立ち上げましたが、問題は多くパソコンになかなかなじみません。しかし、この世紀に生きていく限り、この時代に即応した生き様を考えたいと思ひ難解なこの機器に取り組み普及に努力しています。

◎岡山市連合町内会定期総会  
(平成14年5月28日)

(一)平成13年度事業報告・決算の承認、平成14年度事業計画、予算の承認。  
(二)規約の改正について

規約第二条の「組織及び会員」第三条の「目的」等を改正、第四条として「事業」第十四条「会議の議事録」の新設等を承認。

◎岡山市連合町内会研修視察  
(平成14年8月10日～11日)

会員五十名が高知市のよさこい祭りを見学しました。

◎岡山市連合町内会  
新春互礼会・市政報告会  
(平成15年1月8日)

ピュアリティまきびに於いて萩原市長、宮武市議会議長、高津副議長、菱川助役、井口助役、高田収入役等と会員八十名が出席し兼松会長のあいさつの後、受賞報告、花束の贈呈、市長の市政報告の後、懇談しました。

◎受賞報告

岡山市連合町内会相談役原田潤作氏(妹尾学区連合町内会長)が地縁による団体功勞者として、総務大臣表彰を受賞されました。

また、清輝学区連合町内会長佐藤正信氏、平井学区連合町内会長那須友也氏がそれぞれの分野で顕彰されました。

◎岡山市連合町内会  
創立四十周年記念大会  
(平成15年1月17日)

岡山市連合町内会が創立四十周年を迎え、町内会長、來賓、受賞者等約千三百人が参加し、記念大会を開催しました。

一部

記念式典では、表彰式が挙行され、次の方々が受賞されました。  
〔市長表彰状、感謝状贈呈者〕  
・永年勤続町内会長  
(二十年以上在任) 十二名  
・退任町内会長  
(五年以上在任) 四十九名

- ・現職学区、地区連合町内会長 九十四名
- ・退任学区、地区連合町内会長 (三十周年記念大会以後) 百二十三名
- 〔会長表彰状、感謝状贈呈者〕
- ・永年勤続町内会長 十二社
- ・大会市民ボランティア 一名
- ・歴代事務局長、次長 七名
- ・大会市町村事務局長、次長 七名
- ・大会シンボルマーク入選者 一名
- ・協賛企業代表者 十二社
- ・優良町内会 五十九団体
- ・大会シンボルマーク入選者 一名
- ・協賛企業代表者 十二社



町内会加入のおすすめのパンフレットを作成していますので、ご活用ください。

- ・(四十一年以上在任) 五名
- ・(三十年以上在任) 二十二名
- ・(二十年以上在任) 五十三名
- ・(十年以上在任) 百八十三名
- ・(二十年以上在任) 五十三名
- ・(三十年以上在任) 二十二名
- ・(四十一年以上在任) 五名

岡山県自治会連合会の動き

津山市、英田町、鏡野町が新たに加入

◎岡山県自治会連合会総会

(平成14年6月27日)

児島商工会議所において、岡山市、津山市、倉敷市、児島、吉井町、御津町の役員二十六名、オブザーバーとして早島町一名、各市町村事務局十四名、県行政二名出席のもと開催されました。

平成13年度事業報告、収支決算報告、平成14年度事業計画、収支予算案、全国自治会連合会表彰候補者岡山県自治会連合会推薦基準、岡山県自治会連合会慶弔内規の承認を得た後、全国自治会連合会岡山大会実行計画を協議しました。

◎岡山県知事との定期懇談会

(平成14年4月3日)

県連正副会長6名が石井県知事と懇談。県連組織の拡大への支援、県知事表彰枠の拡大を要請しました。

◎岡山県自治会連合会

加入促進活動の動き

昨年に引き続き、岡山県知事と地方振興局管内住民組織代表者との懇談会の場において岡山県自治会連合会への加入の呼びかけを行うとともに、全国自治会連合会岡山大会への参加を呼びかけました。また、未加入市町村を訪問し加入促進を行いました。

- ・5月 加入促進のため英田町、津山市、勝央町、西粟倉村訪問
- ・6月 津山市連合町内会が加入
- ・英田町行政事務連絡協

7月 議会が加入

7月 東備地域町内会長等、町長へ吉井町区長会会長が加入勧誘

7月 高梁地域町内会長等 知事懇談会出席

8月 倉敷地域町内会長等 知事懇談会出席

10月 全国自治会連合会岡山大会開催、県内から約三百名参加

10月 井笠地域町内会長等、知事懇談会出席

11月 勝英地域町内会長等、知事懇談会出席

4月～10月 全国自治会連合会岡山大会実行委員会開催

2月 中四国自治会連絡協議会が高松市で開催、県連から六名参加

全国自治会連合会の動き

全国自治会連合会全国大会を岡山市で開催

全国自治会連合会の業績は、平成4年施行の地縁団体の法人化の道を開いた地方自治法改正が顕著なものです。その

後しばらく低迷期を迎えました。

平成13年10月に兼松会長が、全国自治会連合会会長に就任し半年を経過した今年度は、いち早く民主的な開かれた組織、対話を尊重する組織への改革に手を着け、規約の改正、規程、基準の制定、役員の登用など着々と進めて参りました。

また、総務省、内閣府など関係省庁大臣、行政当局に積極的に働きかけ国政レベルでの要望を行う中で、要望の実現のためには組織の拡大が課題であることを実感し、精力的に東北、中部、近畿、中四国、九州各都市の自治会連合会を回り、先頭に立って加入促進活動に取り組んできました。

#### ◎事務局担当者会議

・6月13日 理事会に先立ち事務局の立場から会の懸案事項などについて意見交換を行いました。

#### ◎理事会

・第一回理事会(6月14日)  
平成13年度事業報告、収支

決算報告、平成14年度事業計画、収支予算案の承認。

会則改正、総務大臣表彰選考基準の改正、名誉職の委嘱基準の制定、慶弔規程の制定。

#### ・第二回理事会(11月19日)

会則改正、常任理事の選任、名誉職の委嘱基準の改正。

#### ◎全国大会

平成14年10月23日に全国自治会連合会岡山大会を岡山コンベンションセンターで開催。全国二十八都道府県連合組織から三百名、県内から二百七十名、来賓四十名の参加により盛大に行われました。大会後、岡山県自治会連合会並びに岡山市連合町内会の組織活動が全国的な評価を得ました。



◎全国自治会連合会加入促進活動

会長自ら、全国各都市の自治会連合会の会長、役員と懇談し、加入促進活動を行いました。

#### ・4月 京都市

・7月 佐世保市、久留米市

・8月 豊橋市、二宮市、瀬戸市

・9月 盛岡市、米沢市

・12月 弘前市、青森市

・2月 佐賀市、八代市

・3月 岡崎市、大阪市、綾部市、亀岡市、長岡京市

#### ◎総務大臣との定期懇談会

・6月 正副会長、理事5名が片山大臣と懇談。未加入県に対する加入促進活動へのバックアップ、大臣表彰枠の拡大を要望。

#### ◎町内会長への栄典制度適用要望

8月に閣議決定された栄典制度改革に対応して町内会長等地域団体の功労者に対する制度適用要望書を関係大臣に提出した。

・9月 小泉純一郎総理大臣

片山虎之助総務大臣  
松下忠洋内閣府副大臣

村田吉隆内閣府副大臣

熊代昭彦内閣府副大臣

・11月 加藤紀文総務副大臣

・1月 米田建三内閣府副大臣

若松謙維総務副大臣

◎総務省行政当局との懇談

芳山達郎自治行政局長並びに畠中誠二郎新自治行政局長、久保信保前行政課長(官房審議官)、久元喜造行政課長と住民自治活動について個別に懇談を行いました。

#### ◎他県県連との交流

全国自治会連合会会長の立場から各地の県連組織の要望により式典・行事等に積極的に参加し、組織の活性化に寄与しました。

・4月 福井県武生市区長連合会五十周年記念大会へ、パネリストとして出席。

・7月 山口県自治会連合会総会、結成二十周年記念式典に参加。

・10月 中部自治会連絡協議会総会出席。(富山市)

・3月 全国自治会連合会相談役大橋利二郎氏総務大臣表彰受賞祝賀会出席。(桑名市)

◎NPO法人「日本防災士機構」評議員に就任。  
地域防災の要としての住民自治組織を代表して全国組織の評議員に就任しました。

第二回評議員会が10月16日に東京で開催され、今後の活躍が期待されます。

#### 編集後記

第五号連町だよりへご投稿頂きありがとうございます。弥生三月、寒さに耐え白梅・紅梅。しだれ梅が見ごろに咲いている今日このごろです。岡山市連合町内会も21世紀の幕開けと同時に創立40周年記念行事を兼松会長のリーダーシップの基、大成功に終えることができ、また、学区連合町内会長の活動にも開かれた連合町内会として、中広く活躍する姿勢が何われました。これからも地域住民から愛される町内会として明るいまちづくりに頑張りましょう。平成15年度から実施される一小学校区一連合町内会制にご理解賜りますようお願いいたします。

編集委員長  
横山洋